

ななごう 議会だより

主な内容

- 新年のあいさつ……………2
- 12月定例会……………3
- 予算特別委員会……………4～5
- 一般質問……………6～8
- 常任委員会審査報告……………9
- 委員会視察報告……………9～10
- 置病行政視察・置広管内視察報告……………11
- 議員研修会報告・編集後記……………12

No.121 平成23年12月定例会 1月16日発行

議会ホームページアドレス <http://www.city.nanyo.yamagata.jp/webs/gikai/>

謹賀新年



「なでしこ誕生に期待」

元気にがんばる子どもたち(22) FC宮内2002ジュニア

FC宮内2002ジュニアは、小学生からシニアまでサッカーを楽しもうと2002年に設立されたFC宮内2002の小学生カテゴリーのチームです。宮内サッカースポーツ少年団の前身から数えて19年目を迎えます。今年は成績こそ十分なものを残せませんでした。「蔵王での1泊合宿を行い、神奈川県湘南の強豪チームの胸を借りて、いい経験を積みました」(渋谷監督)。現在部員36名、そのうち2名の「なでしこ」がいます。女子チームの誕生が期待されます。



新年のごあいさつ

南陽市議会議長

伊藤 俊美

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな初春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年中は市民の皆様からご理解とご協力を賜り、各議員が自己の良識と信念に基づき議会活動に精励し、地域振興や市政発展に尽力できましたこと心から御礼申し上げます。

さて、世界的な経済不況はわが国にも大きな影響を与え、賃金カット、失業や就職難、消費の低迷等、経済の停滞は止まるところを知りません。

このような中、本市では小中学校の教育環境整備事業がほぼ完了し、東北中央自動車道については試験工事として白竜湖工事が始まり、更なる地域発展へ期待が持たれています。

議会といたしましても、市民生活に不可欠な道路や環境整備の促進、農業・商工業や観光振興、教育問題や少子高齢社会への対策、災害時の危機管理等の課題に対して議員の責務を深く認識し、地方自治確立に尽力いたしますので皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年には市議会議員選挙の年でもあります。市民の皆様のご公平で堅実な投票をお願いしたいと存じます。

結びになりますが、南陽市と市民皆様にとりまして実りある素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。



桑原 仁
副議長



小野健一郎
議員



佐藤 明
議員



殿岡 和郎
議員



小林 啓市
議員



渡部 敬
議員



板垣致江子
議員



高橋 篤
議員



田中 貞一
議員



遠藤 栄吉
議員



松木 新一
議員



漆山 鏗一
議員



白鳥 雅巳
議員



片平 志朗
議員



吉田 美枝
議員



梅川 信治
議員



川合 猛
議員



高橋 弘
議員



12月の定例会の提出議案と議決結果

議案番号	議案名等	議決結果
同意第10号	南陽市漆山財産区管理委員の選任について	同意
議第59号	平成23年度南陽市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議第60号	平成23年度南陽市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議第61号	平成23年度南陽市小滝簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第62号	平成23年度南陽市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議第63号	平成23年度南陽市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第64号	平成23年度南陽市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議第65号	平成23年度南陽市下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議第66号	南陽市税条例等の一部を改正する条例の設定について	原案可決

12月定例会は6日より21日までの16日間の会期で開かれました。提出された議案は、同意案1件、条例案1件、補正予算案7件が提案され、それぞれ原案のとおり可決されました。一般質問は6議員が行い、市当局の考えを質しました。

12月定例会



12月定例会傍聴の様子



菊まつり(菊人形一場面)

議会を傍聴してみませんか!!

原則として中学生以上の人であればどなたでも議会を傍聴することができます。次回の定例会は3月に招集される予定です。市民の皆様は傍聴をお待ちしております。詳しくは議会事務局まで

(TEL) 40-3211
内線303)

平成23年12月定例会補正予算の概要

補正予算額 **2億3,296万3千円**

内訳 (一般財源 2億2,110万5千円)
 (特定財源 1,185万8千円)

一般会計 **134億5,783万9千円**に

(単位：円)

1) 財政調整基金積立金	1億	主 な 項 目	5) ハイジアパーク南陽指定管理料	1,159万
2) 障害者自立支援事業（介護・訓練等給付費） 国2/4、県1/4、市1/4負担割合	419万8千		〔 23年度指定管理料の補正額 1,000万 〕 〔 被災者の12月までの入泉料 159万 〕	
3) 子ども手当システム改修委託料	348万6千		6) 中学校一般管理費、燃料費	177万1千
4) 赤湯停車場線街路事業負担金	1,044万2千		7) 中学校一般管理費、電気料	400万
			8) 総合文化施設整備基金積立金	5,000万
			9) 市債元金償還費（繰上償還）	5,000万

予算特別委員会による質疑

12月19日、予算特別委員会が開催され、総合文化施設建設に関する問題や、ハイジアパーク南陽指定管理料に関する問題等について活発な質問が出されました。
 なお、主な質疑内容については次のとおりです。

一般会計

◎仮称南陽市文化会館について

〈高橋篤議員〉仮称南陽市文化会館建設検討委員会の進捗状況は。

〈企画財政課長〉11月30日、第3回の検討委員会を開催し、これまでの検討報告書素案を作成したところである。

〈高橋篤議員〉文化会館建設費について、市民の間でいろいろ取り沙汰されている。建設費のおおよそはどれくらいとみているのか。

〈市長〉市として準備できるのは財政調整基金、文化施設整備基金を含め10億円程度で、それ以外は起債に頼らざるを得ない。あまり起債額がふえると後世に負担を残すことになるので、国の有利な補助金等も研究しながら進めていくが、30億円前後は必要と考える。

◎ハイジアパーク南陽について

〈川合猛議員〉指定管理料の補正、1159万円は大変大きな金額である。何故こうなったか説明を求め。

〈商工観光課長〉1159万円の内、159万円は大震災に関する避難者に無料開放した入泉料の補填である。1000万円の部分については、これまでの指定管理料の部門毎の財務分析をしたところ、入館料を300円とした時点で、電気料・水道料の負担割合を見直すべきところを、これまで同様、基本料金の1/2の負担設定であったために生じたものである。精査の結果、本来1300万円を指定管理料とすべきところであるが、300万円は企業努力で、1000万円を指定管理料の補正としたものである。

〈佐藤明議員〉ハイジアの施設も20年という節目を迎える中で、これまでも多額の資金を投じて来だが、経営等の見通しを含め総括をして、抜本的計画を立てるべきと思うが。

〈市長〉行政として、ビジネス感覚で取り組み、収益を上げるといふことには無理があった。当初から市民の健康増進、保養のための施設とすべきであったと考える。施設は現在大変厳しい状況下にある。耐用年数を越えた設備もあり、温泉の水位も温度も下がっている。指定管理者が㈱ハイジアパーク南陽としているが、こうした体制での行政側の指導のあり方、パランスの難しさも感じている。市民の施設として維持していくため協力を賜りたい。



ハイジアパーク

〈佐藤明議員〉突然2年前に300円の料金とした。もっと議会を含め、相談すべきでなかったのか。

〈市長〉ハイジアの施設はグレイドが高いが料金も高い。ワンコイン500円では他市町に客が流れる。300円にして20万人の入館者があれば何とか採算がとれると判断した。明るい兆しが見え、少し自信がついた時期、震災の影響で大きく予想が覆されてしまった。施設の老朽化もあり、運営体系の構築を始め、抜本的に再検討していく時期に来ていると考える。

〈佐藤明議員〉40数億円もかけた施設である。これまでの膿を出し切り、再出発の意気込みで、難局を乗り越えていただくよう対応していただきたい。

〈遠藤栄吉議員〉2年前、料金を300円にしたことは成功だったか、失敗だったか。

〈市長〉成功だったと思う。利用者が少なくて赤字よりは、多くの利用者があつて負担が増える方を選択した。

〈遠藤栄吉議員〉累積赤字はどれ

くらいか。

〈商工観光課長〉2億9千400万円余である。

〈遠藤栄吉議員〉これまで投資した総額はいくらか。

〈市長〉施設と運営資金は違う。資本金だけでも相当な額となる。

〈遠藤栄吉議員〉ハイジアパーク南陽はどのような位置づけか。

〈市長〉株式会社ではあるが、株主に配当するまでには至っていない。市民の健康増進、福祉の施設ととらえている。

〈遠藤栄吉議員〉今後も維持していくため、新たな源泉を求めるなどの処置が必要なのではないか。

〈市長〉こうしたことも念頭において、維持・経営を考えていく時期である。

〈遠藤栄吉議員〉塩田市政の汚点にならないよう、速急に前向きな対策を講じて欲しい。

〈小林啓市議員〉行政で経営はできない。経営の専門家を見つけるべきではないのか。

〈市長〉累積赤字3億円近く、債務超過4千万円の施設では、誰も

引き受けてなどくれない。経営能力のある人を紹介して欲しい。

〈小林啓市議員〉経験のある優秀な人材を条件付きで募集をかけ、早く民間に移した方が再建がうまくいくと思う。要望したい。

◎学校技能士配置について

〈吉田美枝議員〉教育環境整備が概ね整ったということで、今年4月より学校技能士を教育委員会に統合し、集中管理業務とされた。ここに来て2名の人材派遣を受け、以前のように各学校1名の技能士を配置されたと聞く。これは冬期間限定の処置なのか、新年度以降もこうした形態をとっていくのか。

〈管理課長〉10月から2名委託増員し、1カ月間各学校を回り研修。11月より冬期シフトということで、業務命令の形で、市内11の学校にそれぞれ1名づつ配置した。新年度以降に関しては、学校数だけの人員は確保したいものと考えてるが、予算との兼ね合いもあり、どうなるかは不明である。教育委員会での集中管理という形態は、効果も現われており、今後も維持していく。

※指定管理者制度…平成15年9月に施行され、自治体が住民の福祉増進を目的として設置した公の施設を民間事業者・団体等を指定して管理運営させる制度。

市政に対する議員の 一般質問と答弁要旨



福島原発事故関連・
市の教育について
かわい合 猛 議員

◎今後の放射線測定について。

〈市長〉空間放射線測定器が10月20日に納品になったことにより、いつでも計測できる環境が整った。これまで、県より測定器を借用し、月2回の定点観測地点3カ所のほか、23カ所を月1回計測してまいりました。11月に入り、県へ報告している定点観測の実施が月1回となったことを受け、3カ所の定点観測は1回とし、その他の23カ所は、これまでどおり月1回測定し、市民に公表しながら今後も継続して行きたい。また国から「福島県以外の地域における周辺より放射線量が高い箇所への対応方針」が10月21日示されたことによ

り、保育園、幼稚園、小・中学校の側溝、集水ます等、飛散した放射性物質の集積しやすい箇所の測定を行い、11月28日に完了しており、公表したところです。今後については、児童公園等子どもの集まる場所の測定を行い、その後地域よりのご要望のある個所の測定を行いたいと考えている。

◎来年4月より旧中学校卒業の生徒がいなくなります。校歌への対応はどうするのか。

〈教育長〉沖郷中学校では、校歌の一部分を組み入れ、新しい校歌としたい。赤湯中学校では、旧中川中の校歌を「校風歌」として、赤湯中の校歌と共に大切に歌い継ぐとして進めている。宮内中学校では、生徒たちの思いや願いを活かしながら新たな校歌を制定しようとして進めております。各学校の判断により決定するが、教育委員会としては、それぞれの歴史と伝統が十分に生かされるよう、適切に指導してまいりたい。



安心のまち、
健康のまちづくり
いたがき ちえこ
板垣致江子 議員

◎南陽市も昨年は大雨警報が6回も出され、大震災後の活断層の影響も心配され、自主防災組織の育成・強化が不可欠となっている。現在の状況は、また立ち上げのきっかけとなるような地区リーダー研修会等の行政の応援体制は。

〈市長〉吉野、梨郷は全地区が組織。赤湯地区は新たなネットワークが組織され活動が強化される

ところ。今後、組織率を高め、日頃の活動の推進のため、地区長等への研修会の開催も検討していく。

◎災害時要援護者、避難プランのシステム化の取り組み状況は。

〈市長〉今年度導入の要介護者の地図情報システムに災害時要援護者の情報も入力し、自主防災組織と協力し有効に活用したい。

◎救急時や災害の援護の際に役立つ、情報を保管する救急医療キット配布事業への取り組みは。

〈市長〉情報の更新などの課題も考慮した上で導入しなければならぬと考えている。

◎AEDの設置状況と管理体制は。
〈市長〉体育館・各学校・公民館など22施設、他一般の29施設に設置され、管理は設置者。使えないAEDでは困るので、講習等も積極的に取り組んでいく。

◎子宮頸がんワクチンの接種の状況と副反応などの問題は。またワクチンだけで100%予防できるものではなく、若い世代からの細胞診検査が重要とされる。その状況と対策は。

〈市長〉ワクチン接種状況は中学1年〜高校2年まで672名接種の82%の接種率となっている。市内では重篤な副反応は報告されていない。20代の子宮頸がん検診の受診率は全国的にも低いが、南陽市では8.9%となっている。若い世代の命を守り、未来の子どもたちのためにも、学校や家庭での教育、また職場での啓発を行っていく。



危機管理体制の充実と
冬季の観光誘客について
しらとりまさみ
白鳥雅巳 議員

◎緊急時の連絡系統と山間部の危険箇所について。

〈市長〉市防災計画において、非常配備基準と活動内容を定め、地震については、初動体制マニュアルを策定し対応している。また、山間地域の危険箇所のチェック等は、県指定土砂災害警戒区域を関係課等がパトロールを行い状況把握をしている。

◎国内姉妹都市提携の進捗状況は。

〈市長〉大震災後「災害心援協定」等の声掛け頂いた自治体もあり検討を続けているが、双方の期待内容が一致せず問題点も多いが今後引き続き模索していく。

◎山間地域での自主防災活動は。

〈市長〉連絡体制の確立と、危険箇所の点検、避難経路の確保、防災訓練等を各組織の状況に応じて

実施している。また、現在、土砂災害ハザードマップの作成について検討している。

◎省エネについて庁舎、施設の電気使用量の削減目標は。

〈市長〉電気使用量の具体的な削減目標は定めてないが、県の「省エネ県民運動」と連携しながら節電に努めて行く。

◎冬季の観光誘客とイベントは。

〈市長〉置賜三市五町で組織する山形おきたま観光協議会で、冬季キャンペーン「冬のあつた回廊」を12月から3月まで展開しており、減少する冬期間の誘客を図っている。

◎雪の降らない地域、県からの体験型交流について。

〈市長〉現在のところ、観光分野での企画はないが、今後関係機関と連携して研究していきたい。



道路パトロール車



来年度の予算編成と
重点施策は
さとうあきら
佐藤明 議員

◎来年度の予算編成の基本は。

〈市長〉総務省の仮試算では、地方税は名目経済成長率を見込んで1.5%の増、地方交付税は東日本大震災に係る地方復旧、復興財源を除けば1.6%の減額という厳しい予測となっている。全ての事業についてその効果の検証を行い、第5次総合計画の具現化とともに、持続可能な行財政運営を基本方針として予算編成を行ってまいりたい。

◎長引く不況が続く中で地元商工業者の営業とくらしをどう守っていくのか。また、福祉と医療、子育て支援と教育、農業、観光等の施策はどう考えておられるか。

〈市長〉本市を取り巻く社会環境は、極めて厳しいものと認識をしている。市民生活の根幹をなす雇用の維持、確保は喫緊の課題としてとらえており、公共事業の発注や商工業者への制度資金の利用拡充を積極化するなどして、景気の下支えと信用保証の確保に万全を期していく。また福祉や医療、子育て支援についても、国の制度そのものが年ごとに変わる状況であります。命とくらしを守る責務は、行政にあるものと心得ながらアンテナを高くし、情報収集を行ってまいりたい。

農業、観光分野では、福島原発の事故に伴う風評被害の拡大が、懸念材料であります。市内農産品の放射線測定に対する助成を継続し、消費者の不安感一掃に努めていくほか、南陽ブランドの発信能力を更に向上させ、農業・観光業の振興に力点を置いて参りたい。なお個別の予算、事業については、今後の施政方針等で示していきたい。

◎その他の質問等

◎税収の見直し。

◎市の雇用状況の実態と対策。





**再生可能エネルギーの
取組を目指せ！**
かた ひら し ろう
片平志朗 議員

◎東日本大震災や福島第一原発事故を受けて、安全で安心な再生可能エネルギーの展開を迫られている。そこで当市の考え方と取組について伺います。

〈市長〉再生可能エネルギーについては、福島原子力発電所事故による電力供給のひっ迫から特に注目されている。太陽光や風力、地熱等いずれにおいてもコストや適地確保、自然環境への影響など一長一短があり、化石燃料の代替にはしばらく時間がかかるものと考えている。県の再生可能エネルギー戦略が策定中で、その内容を注視している。本市においては、県土の七割を占める森林の有効活用について、提言を行っている。特に「木質バイオマス」のエネルギー利用と森林整備の循環を図る新エコタ

ウンプロジェクト研究会など開催し、地域事情にあった新エネルギー戦略を研究している。

◎市の再生可能エネルギーの取組はあるのか。

〈市長〉太陽光発電設備を赤湯小宮内小及び宮内中の3校施設と市役所に設置しており、環境教育と一部電力を補う形で活用している。

◎廃食油のリサイクルについては。

〈市長〉既に市内民間事業所において取組まれており、学校施設や一部地域、団体の協力体制のもと、廃食油のリサイクル燃料化が進められている。今後、近隣市町からの情報収集や民間事業所とのリサイクルに向けた意見交換を行っていく。



松前町の廃食油の回収ボックス



**人に優しい、高齢者世帯に親切で
思いやりのある除雪を求めて!!**
た なか てい いち
田中貞一 議員

◎4月から消防広域化が始まる。署員の減少により消防力低下の心配はないのか。

〈市長〉現在49名で本部、署体制を組み市民の安全確保に当たっている。4月からは、本部を米沢に置いたため39人体制になるが、今の出動体制は維持され、更に隣接署からもポンプ車や救急車1台同時出動し、低下なく安全は確保出来る。

◎防災対策の整備拡充が市民の安全を守る最重要課題だが市長の考えはどうか。

〈市長〉大規模災害時に大きな力となる自主防災組織の100%立上げを目指す。各地区公民館へ防災無線の配備も検討する。

◎近年大雪が続いている。本市の高齢化率は、26年には29.6%となり、約3割の人が65歳以上の時代

がやって来る。高齢世帯が増え、除雪対策で困っておられる人が多くいる現状の中で、人に優しい、親切で思いやりのある除雪対策を強く求めるがどうか。また、新しい時代の除雪の研究も始めるべきと考えるがどうか。

〈市長〉業者には、出入口付近へ残雪無いよう指導しているが作業の一連の流れや機械構造から残雪なるのが現状だ。今冬はパトローンを徹底した確に状況把握して対応する。また、組合と連携し、やさしい除雪、親切な除雪に心がけ対応する。高齢化時代に向け、村山市等他市の除雪方法も研究していく。

その他の質問

○人口減少歯止め政策について。
○足腰の強い農業政策を求める。



新しく購入した小型除雪車

常任委員会審査報告

総務常任委員会

◎南陽市税条例等の一部を改正する条例の設定について。

本案は、現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税等の一部を改正する法律（平成23年法律第83号）が平成23年6月30日に公布され、平成24年1月1日から施行される。寄付金税額控除に係るものについて、所要の改正を行なうものであります。当局から、個人住民税寄附金税額の適用下限額を5000円から2000円に引き下げるほか、「上場株式等に係る配当所得に係る市民税の特例」はじめ「土地の譲渡等に係る市民税の特例の特例」、「長期譲渡所得に係る個人の市民税の特例の特例」、「短期譲渡所得に係る個人の市民税の特例の特例」、「株式等に係る譲渡所得に係る個人市民税の特例の特例」、「先物取引に係る雑所得に係る個人の市民税の特例の特例」

「条例適用利子等及び条約適用配当等に係る個人の市民税の課税の特例」、及び「個人の市民税に関する経過措置」の部分については、条文の簡素化を図る改正であり、内容の変更はないとの説明があり審査の結果、当局の説明を了とし全員異議なく原案のとおり可決しました。

（委員長 高橋 篤）



新設された宮内中学校テニスコート

常任委員会管内視察報告

文教厚生常任委員会

10月21日、吉野森林交流センター、漆山小学校、宮内中学校、いちよりの家、中央花公園多目的運動広場の5カ所を視察しました。交流センターは、事業費1億2200万円で元吉野中学校跡地に、地元産木材を多く使用したモデル的な施設でありました。

漆山小学校では、10月14日に耐震補強工事が終了しており、これで市内の小中学校の耐震化率は100%になった。現在は、体育館大規模改造中で12月20日工期まで完成予定との事であった。

宮内中学校では、近代的なグラウンドとテニスコートが完成しており、校舎からは、生徒達の学びの声が聞こえてすばらしい環境となっていた。

いちよりの家では、多くの職員と話し合いが出来た。現在65名が通所して園芸ハウスでの花卉栽培販売、漬物加工、キムチ元気漬け

等を通して、一般就労への移行に向けての必要な知識、技術、能力の習得に頑張っておられた。また福祉バザーを開催し、380人位の市民の来場があり、収益の一部を大震災の義援金として送ったとの事で心温まる活動をされていました。中央花公園多目的運動広場は、人工芝工事が完了していた。総事業費4900万円のうち64%がTOTOの助成金で返ってくるという事でした。

（委員長 田中 貞一）



漆山小学校

※TOTO…スポーツ振興くじ助成金

産業建設常任委員会

10月13日、2カ所の管内視察を行いました。

①やまがた絆の森 NDDソフト、こもれびの郷

ハイジアパーク南陽の東側に位置するやまがた絆の森は、NDDソフトと山形県、南陽市が協定を結び始められた。コンピュータ関係の仕事がら、社員が自然の中でフレッシュできるよう福利厚生も含めた事業ということでした。現在まで下草刈り、枝打ち、歩道整備などの作業を6回行い、10月30日には一般も募集しての除間伐体験&自然環境学習のプロジェクトが行なわれるとの説明を受けました。来春には一段と整備が進み、市民や家族連れの散策コースとして楽しめるのではないのでしょうか。

②イオン仙台中山店アンテナショップ

仙台大観音のすぐそば、中山店の広々とした店内の一角に5月29日にオープンしたこのショップは、緊急雇用創出事業で、地元から4名、南陽から1名の5名の職員が勤務している。毎朝10時の開店に

合わせ、朝採り野菜や果物を搬入している。一日平均5万円程の売上があり、売れ筋ベスト5は一位果物類(さくらんぼ・ぶどう等)二位野菜類(おかひじき等)三位昆布青菜漬、四位油揚げ、五位もち米で、8月はぶどうが多く単価・売上額とも大きなウエイトを占めているとのことでした。常連のお客さんも増えているようで、車20分圏内には23万世帯が生活している。品質の良い魅力ある南陽ブランドをますます増やし大いに南陽をアピールしていただきたい。

(委員長 板垣致江子)



議会報編集委員会行政視察報告

10月5・6日と新潟県聖籠町に議会報の研修視察を行ってきました。

聖籠町は、ほぼ平坦な穀倉地帯で稲作のほか、当市と同じさくらんぼやブドウの栽培が盛んに行われております。議会報作りには大変力を入れており、4450部の発行部数に対し97万円の予算がついており、年4回の発行で1号あたり平均22ページと多くすべての面で余裕があり、見出しも大きく、読みたくなる議会報作りを目ざしているとの事でした。

町村議会広報全国コンクールでは数回、入選または奨励賞を受けております。数々の賞を受けられた要因として、表紙の子供達等に動きのあること。質問等の部分では、週刊紙的な大きな見出しをつけ町民の皆様の読む気を誘い、文章は短く、議会での雰囲気や言葉で表現する。写真は大きく人の写っているものを優先する。余白をうまく利用する。紙面のスタイルは表紙を含めてこだわらず、個

性ある議会だよりの編集をする。また、最後のページは町民参加コーナーを設け「聖籠町に嫁いで来たお嫁さん」のコーナーが有り、花嫁姿の写真を載せ、聖籠町へ嫁いで来た感想とか、町の良い所、また町政へ望む事などのインタビュー記事を載せている。この先多くの花嫁さんが順番待ちの状態であるとのこと。議会一辺倒でなく、町民に身近な記事もあり、多くの人に読んでもらえるのではないかと思います。

(委員長 川合 猛)

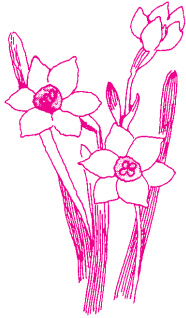


置賜広域病院組合 議会報告

10月定例会が10月24日午前10時より南陽市議会議場で開かれました。提出された議案は①平成22年度置賜広域病院組合病院事業会計決算②平成23年度置賜広域病院組合病院事業会計補正予算(第一号)の2件です。

①については、監査委員の決算審査意見書を付して提案されたもので、前年度に比べ医業収支比率は2.2ポイントの改善となりました。②については、地域医療再生計画関連事業の実施と平成22年度病院事業決算に伴う構成団体負担金の精算等のため5億4千769万6千円の補正を計上したもので、いずれも原案のとおり認定及び可決されました。

(置病議員 殿岡 和郎)



置賜広域病院組合 行政視察報告

置賜広域病院組合議会議員の行政視察研修は、置賜地域の基幹病院としてのあり方等の検討及び推進に資するため、同程度の機能を有し、地域の中核病院で緊急医療を担い経営的にも優良である病院の運用実例について調査を行いました。

去る11月1日から2日までの日程で、群馬県藤岡市の公立藤岡総合病院を行政視察致しました。当病院は昭和26年に診療を開始し、平成18年には地域支援病院の認定を受け、看護配置体制7対1を取得し、また外来センターの建設により入院と外来を分離し、特に地域の医療機関と強く連携し信頼される病院づくりに取り組んでおりました。医業収支比率95.8%、病床利用率85.2%と良好な収支バランスを保ちながら健全な病院経営を進めておりました。

(置病議員 殿岡 和郎)

置賜広域行政事務組合議会報告

11月15日米沢市議会議場において置賜広域行政事務組合議会定例会が行われました。提出議案は、
◎平成22年度広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算
◎平成22年度広域行政事務組合ふるさと市町村圏事業費特別会計歳入歳出決算

◎組合有財産(消防庁舎内パソコン及びネットワーク機器)の取得について
◎置賜広域行政事務組合公告式条例の一部改正について
◎置賜広域行政事務組合情報公開条例の一部改正について
◎置賜広域行政事務組合個人情報保護条例の一部改正について



広域消防指令センター

◎置賜広域行政事務組合事務局設置条例の一部改正について
◎置賜広域行政事務組合職員の再任用に関する条例の一部改正について
◎置賜広域行政事務組合一般職の給与に関する条例の一部改正について

◎置賜広域行政事務組合一般職の職員の旅費に関する条例の一部改正について
◎置賜広域行政事務組合消防特別会計条例の設定について
◎置賜広域行政事務組合消防職員に対する賞しゅつ金等の授与に関する条例の設定について
◎置賜広域行政事務組合火災予防条例の設定について

◎平成23年度置賜広域行政事務組合一般会計補正予算(第3号)
◎置賜広域行政事務組合議会委員会条例の一部改正について
以上全議案賛成多数で可決承認をされました。

(置広議員 高橋 弘)

置賜二市二町議員 親善交流会の報告

10月4日ハイジアパーク南陽において、置賜二市二町議会議員親善交流会が開催され、研修の部では、山形大学理工学研究科教授・松田修先生による「微差」と題した講演会が開催され、福島原発問題を全く違う視点からのお話しを興味深く聞きました。ベクレル・シーベルト等々始めて耳にする言葉や数値が、独り歩きをしている。



余り神経質にならず、対応するところが肝要である等のお話でした。午後からは、花公園グラウンドゴルフコースにおいて、二市二町の議員60数名の参加でグラウンドゴルフ交流試合が開催され、にぎやかな笑い声の中で珍プレー好プレーの連続。南陽市チームが地元のリ、マイコースである事から平成17年度以来6年振りの優勝を手にしました。

(川合 猛)

高畠町議会議員・南陽市議会議員 合同研修会・スポーツ交流会

11月4日午後よりハイジアパーク南陽において、高畠町議会議員と南陽市議会議員との合同研修会が開催され、置賜保健所所長山田敬子氏を講師にお迎えし「置賜地域の保健医療の現状と展望について」と題した講演をお聞きしました。三大疾病の内がん死が庄内に次ぎ置賜が第2位、また心筋梗塞死が最上に次いで第2位、脳卒中死が最上に次いで第2位と、いづれも置賜地区が高い数字である。

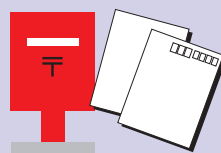
特に女性のがん死亡が多い。そのうちでも「胃がん」「大腸がん」の死亡が高い地域がある。男性では、南陽・高畠で「肺がん」死亡が高い。また女性の自殺は県内一低い。一方で、小国町では飛びぬけて女性の自殺率が高い。今後、団塊の世代が平均寿命を迎えるとき75歳以上の人口は2005年の倍、18歳人口は2/3になる等のお話しを聞きました。引き続き向山ソフトボール場でソフトボール交流試合が行なわれました。

(川合 猛)



南陽市議会議員一同は、政治倫理の確立を期するため、年賀状などの時候の挨拶状(答礼のため自筆によるものを除く)、諸行事、会合での一切の寄付などは行っておりません。

市民のみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。



公職選挙法の規定を守り、虚礼廃止を申し合わせています。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年は大雪、大震災、原発事故、集中豪雨等、大変な一年でした。被災地の皆さんはどんなお正月を迎えられたのでしょうか。一生消えない大きな傷を負った生活、先の見えない復興計画、せめて笑顔だけでも早く取り戻して欲しいと思います。市民の皆様にとりまして幸せに満ちあふれた、素晴らしい年に成ります様心からお祈り致します。

委員長 川合 猛
副委員長 梅川 信治
委員 白鳥 雅巳
吉田 美枝
高橋 弘
板垣致江子